

ロジスティクス環境会議

第6回環境パフォーマンス評価手法検討委員会 議事録

・日 時：2004年8月31日(火) 15:00～17:00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 別館2F アイビー

・出席者：26名

・内 容：

- 1) データ収集方法ガイドの事例調査結果の報告
- 2) データ収集方法ガイドの完成イメージについて
- 3) その他

・開 会

定刻、増井委員長により、開会が宣された。

・データ収集方法ガイドの事例調査結果の報告【資料1-1】

事務局より、資料1-1に基づき、先に実施した「データ収集方法ガイドの事例調査」についての報告が行われた。結果として、荷主企業と物流企業双方の課題として、按分方法が確立されていないことによって、荷主にとっては正確な算定を行うことが出来ない状況が明らかになっていることが確認され、今年度の環境調和型ロジスティクス調査(LEMS/JILS 総研)では、今回の事例集の課題でも焦点となっている「按分方法」の調査、検討についても行う予定であり、その結果を受けて、当委員会で具体的な検証を行いたい旨の説明が行われた。

・議事の経過

1. 議 事

増井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) データ収集方法ガイドの完成イメージについて【資料2】

事務局より、資料に基づき、データ収集方法のガイド(以下、ガイド)の目次構成について説明が行われた後、以下のような意見交換が行なわれた。

【主な意見交換の内容】

【委 員】「2. 算定方法とデータ収集方法の紹介」のところでは、今回のデータ項目等の事例を基本パターンにまとめたものも掲載した方が良いのではないか。

【委 員】巻末に付録として、係数等の索引一覧があれば便利ではないか。

【委 員】各社で使用している係数や原単位の記載方法は、必ず数値や出典、可能であれば該当ページを記載してもらった方が良いのではないか。

以上のような意見交換が行われた後、基本的な構成としては、以下のようにデータ収集方法ガイドの作成を進めることが確認された。

- (1) 基本的な構成は、資料2のとおりとし、算定方法やデータ項目については、標準式、代替式（LEMS提案）と今回収集した各事例との紐付けを行い、整理する。
- (2) 巻末に係数等の索引一覧を作成する。

2) 各社の事例報告

増井委員長より、今回提出されたデータ収集方法の事例について、各社から簡単にご報告いただきたい旨の依頼がなされ、各メンバーの承認のもと、提出資料（事例）の説明が行われた。また、事例発表後、以下のような意見交換がなされた。

- 【委員】係数、原単位については、出典が明記されていれば何を活用するかは現時点では良いと思うが、算定方法については、トンキロを用いる方法と燃料消費量を用いる方法の大きく二つあるが、CO₂算定量の違いの目安はあるのか。
- 【事務局】今日の段階では実施していないが、参考値としては算出できるので行ってみたい。
- 【委員】CO₂削減の対策を行ったことに対する評価をしたいが、物流の途中段階で車格等が変わったりすると原単位も変わるため、厳密な評価が難しい。

以上のような意見交換を踏まえ、データ収集方法ガイド事例集について、以下のように進めることが確認された。

- 1) 各事例については、第三者が読んで分かるよう、可能な範囲で具体的な表現に加筆修正する。
係数、原単位については、出来る限り、数値・出典・該当頁・URLをお知らせください。
- 2) 提出について
提出期日：9月14日（火）
提出先：事務局（遠藤） endo@logistics.or.jp
- 3) 今後のスケジュールについて
第7回委員会
日時：10月1日（金）15 - 17時
会場：

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、増井委員長は閉会を宣した。

以上